

特集

新しい時代に必要な資質・能力を育成

高梁市のICT教育

これまでの教育現場では、インターネット上の情報を収集するためにパソコンなどが利用されていましたが、近年、「電子黒板」「タブレット端末」などの教育向けのICT機器が登場しました。これにより、友だち同士のコミュニケーションや学習内容の理解を助ける役割を担うことができ、授業への活用に向けて注目が高まっています。

今回は、高梁市のICT教育の現状、研究指定校の授業内容、教諭・生徒へのインタビューなどを紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ (21) 15008

ICT教育とは

ICTという言葉は、「インフォメーション」「コミュニケーション」「テクノロジー」の頭文字をとった略語で、日本語では「情報通信技術」と呼ばれています。

よく耳にするIT(情報技術)と同じように使われていますが、実際にはICTが定着していることから、日本でもITに代わりICTが広まりつつあります。

国においても、経済の活性化や社会保障費の増大、大規模災害対策などのさまざまな課題に対応するため、農林水産業や医療、観光、防災などの分野におけるICTの効果的な利活用を推進しています。

グローバル化の進展や人工知能(AI)の飛躍的な進化など、社会は大きく変化しています。新しい時代に必要となる資質・能力を育成するため、ICTを効果的に活用した授業を実現し、情報社会を生きるための学びが必要となっています。